

新中宮浄水場～春日受水場間送水管の更新・耐震化について

上水道工務課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市では、枚方市水道施設整備基本計画に基づき、重要給水施設への配水管、緊急交通路や軌道下に埋設されている配水管など、災害や劣化などの原因で漏水が発生した場合、社会的に影響が大きい送水管や基幹配水管の更新を重点的に進めています。

そうした中、中宮浄水場と春日受水場までを繋ぐ送水管は、本市の東部・南部地域へ配水している基幹施設となっていますが、昭和47年(1972年)に布設された耐震性が低い铸铁管であるため、耐震加速化が求められる重要な管路です。

また、新たに布設する管路は、緊急連絡管で大阪広域水道企業団から受水できる構造とすることで、令和4年度(2022年度)から建築を進めている新中宮浄水場のバックアップ施設として、枚方市北部地域約15万人への給水が可能となり、国が推奨する防災・減災、国土強靱化の加速化に向けた取り組みにも寄与するものであり、令和10年度(2028年度)の供用開始を目指し、今年度から工事に着手するものです。

2. 内容

新中宮浄水場～春日受水場間送水管更新事業

【事業の概要】

施工延長約3.5 km、セグメント外径1800 mmのシールドトンネルを施工後、シールド内に耐震性を持つ口径800 mmの铸铁管を布設します。

【事業期間及び事業費等】

- 事業期間：令和6年度から令和14年度まで
- 事業費：5,950百万円



(参考) シールド機イメージ

【位置図】



3. 実施時期等

(1) 事業スケジュール

新中宮浄水場～春日受水場間送水管更新事業

令和6年度（2024年度）～令和10年度（2028年度） 送水管布設、供用開始

令和11年度（2029年度）～令和14年度（2032年度） 既設送水管撤去

4. 総合計画等における根拠・位置付け

- (1) 総合計画 基本目標：安全で、利便性の高いまち
 施策目標：1. 災害に対する備えができているまち

(2) 水道ビジョン2022

安全－＜水道水質のさらなる向上＞

強靱－＜水道施設等の適切な維持管理＞ ＜水道施設等の計画的な更新と耐震化＞

持続－＜施設更新の適正化＞

(3) 枚方市水道施設整備基本計画中間見直し編



5. 関係法令・条例等

水道法、地方公営企業法

6. 事業費・財源及びコスト

新中宮浄水場～春日受水場間送水管更新事業

《事業費》 5,950,920千円

令和6年度（2024年度）～令和14年度（2032年度） <継続費>

《財源》

国府支出金:1,487,000千円 企業債:4,014,000千円 損益勘定留保資金:449,920千円